



令和２年度 大阪しあわせネットワーク 事業報告書

１．令和２年度の概要

大阪府社会福祉協議会ならびに社会福祉施設経営者部会・各施設種別部会では、昨今の社会経済情勢の変化等により顕在化してきた“制度の狭間”の課題への対応や、改めて問われている社会福祉法人のあり方をめぐる議論に“社会福祉法人の使命”として応えるため、これまで大阪で取り組まれてきた実践をさらに発展し、社会福祉法人の強みを活かしたさまざまな地域貢献事業を「大阪しあわせネットワーク（オール大阪の社会福祉法人による社会貢献事業）」として、平成２７年度から推進している。

令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、解雇や倒産による失業や収入減などの生活困窮や孤立といった課題が浮き彫りとなり、大阪しあわせネットワークにおいても、感染予防に努めながら迅速かつ適切な相談支援とネットワークを活かした取り組みを推進してきた。また、今後の事業のあり方の検討として、昨年度に引き続いて委員会を開催し、府域の大阪しあわせネットワークと地域貢献委員会などの市区町村域での実践について、府域全体で重層的包括的に事業を推進していく方向性をまとめるとともに、“オール大阪”で展開する事業の一層の広がりをめざして実践事例集を作成するなど、下記の事業を展開した。

２．各事業の実績

（１）総合生活相談事業（生活困窮者レスキュー事業）

失業、介護、障がい、虐待やDVなどにより、今日・明日食べるものがない、電気・ガスが止まってしまった…など制度の狭間の生活困窮に陥った方など、様々な“生活SOS”に対応する総合生活相談事業「生活困窮者レスキュー事業」について、すべての施設種別のコミュニティソーシャルワーカーによる支援を展開している。

令和２年度の相談支援件数は、新規相談 1,802 件、継続相談 1,199 件、合計 3,001 件（社会貢献支援員が支援に関わった事例のみ）で、相談支援事例のうち、「経済的援助（現物給付）」による支援を行ったものは、556 件 44,427,387 円（再支援ケース 23 件 1,066,796 円を含む）であった。

①相談支援件数 ※下記件数は社会貢献支援員の関わった事例のみの集計

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
新規	189	151	144	131	135	158	144	171	137	154	142	146	1802
継続	72	101	98	86	107	108	117	106	107	112	100	85	1199
計	261	252	242	217	242	266	261	277	244	266	242	231	3001

②「経済的援助（現物給付）」を行った支援件数と金額

月	件数（件）	金額（円）	月	件数（件）	金額（円）
4	67	5,651,666	10	73	5,707,213
5	42	2,946,810	11	23	2,071,702
6	41	2,993,693	12	55	4,358,444
7	43	3,176,708	1	32	2,661,378
8	31	2,315,124	2	47	4,064,315
9	37	3,181,537	3	65	5,298,797
計				556	44,427,387

【参考】令和元年度 752件 56,545,321円

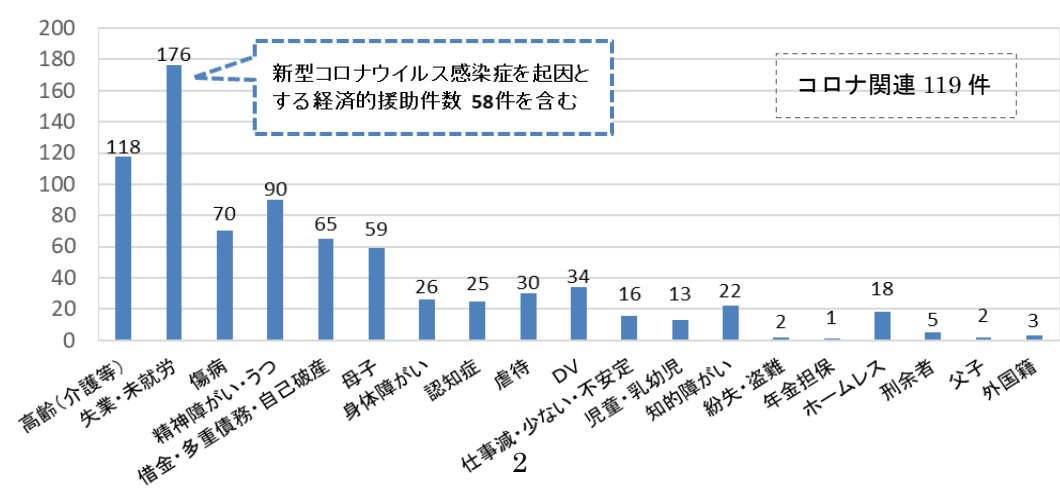
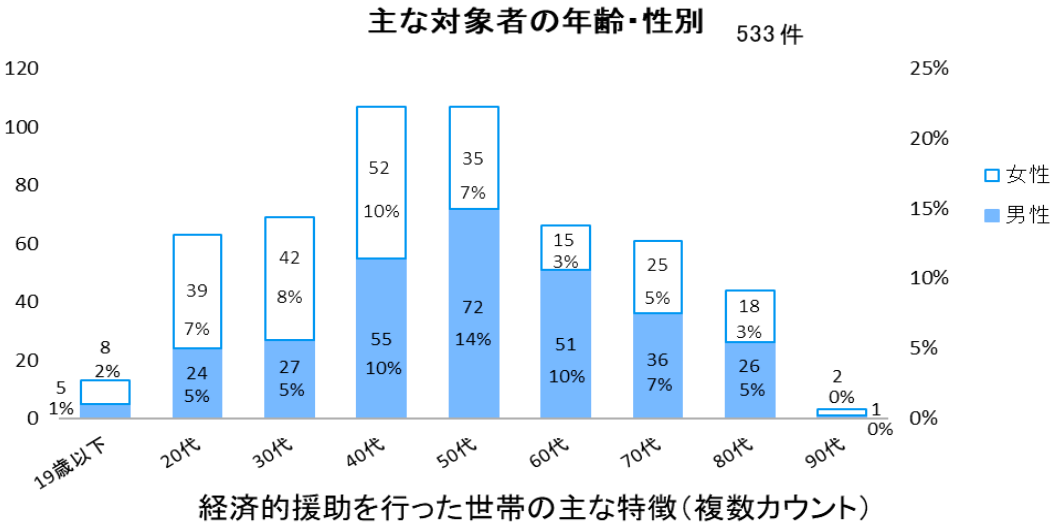
※上記の件数・金額には、再支援ケース23件1,066,796円を含む

※10万円を超える支援を行った件数は45件。（再支援で10万円を超えた件数含む）

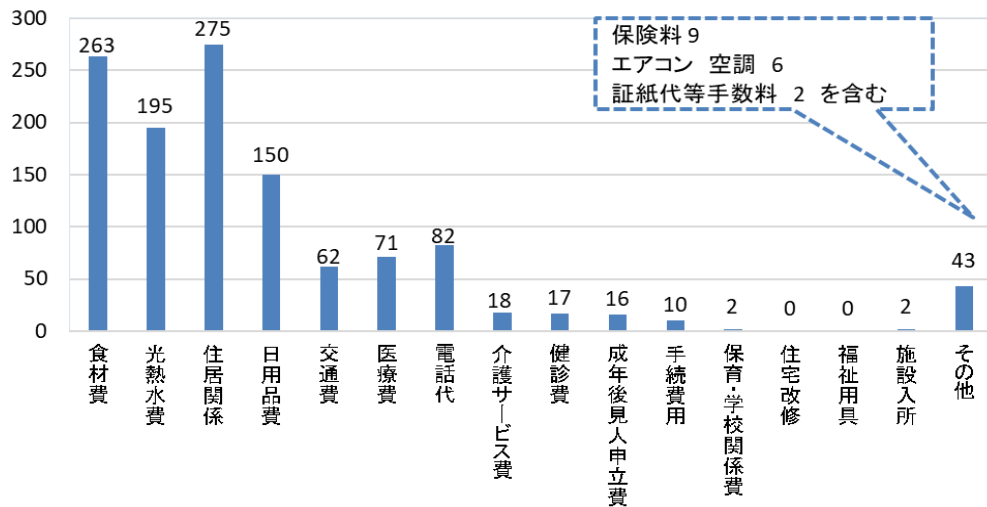
※施設からの残額返金が255件9,097,458円、対象者からの返還が39件447,976円あり、決算における経済的援助金額はこれらを差し引いた34,881,953円となる。

③「経済的援助（現物給付）」を行った相談支援事例の特徴と傾向

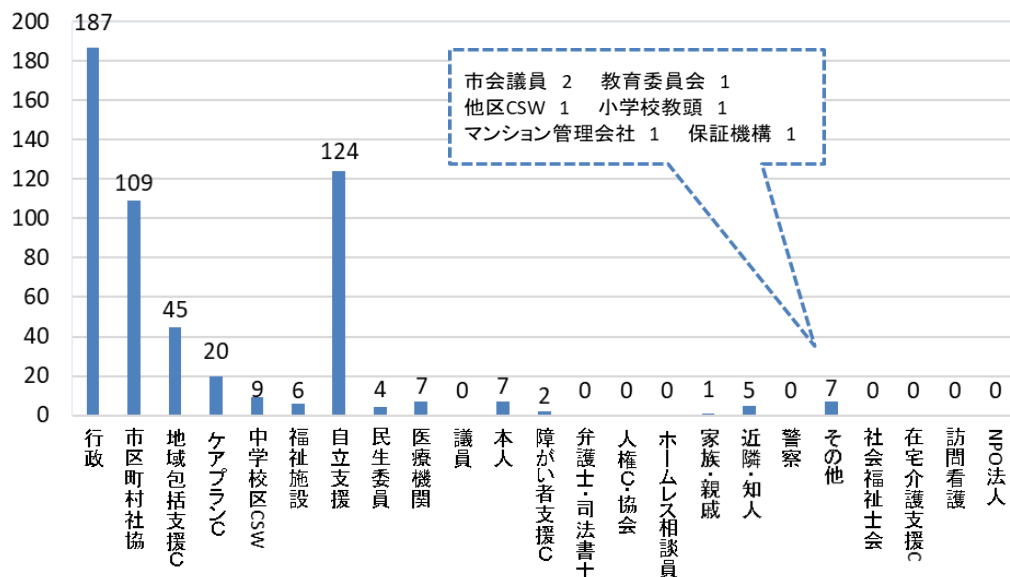
「経済的援助（現物給付）」による支援を行った世帯の主な対象者の年齢は、稼働年齢層である40代、50代が多く、全体の約4割を占めている。世帯の特徴については、「失業・未就労（176件）」、「高齢（介護等）（118件）」の順に多くなり、相談の紹介経路については、「行政（187件）」が最も多くなっている。



経済的援助の主な内容(複数カウント)



経済的援助事例の紹介経路



《新型コロナウイルス感染症の影響に伴う総合生活相談事業の推進》

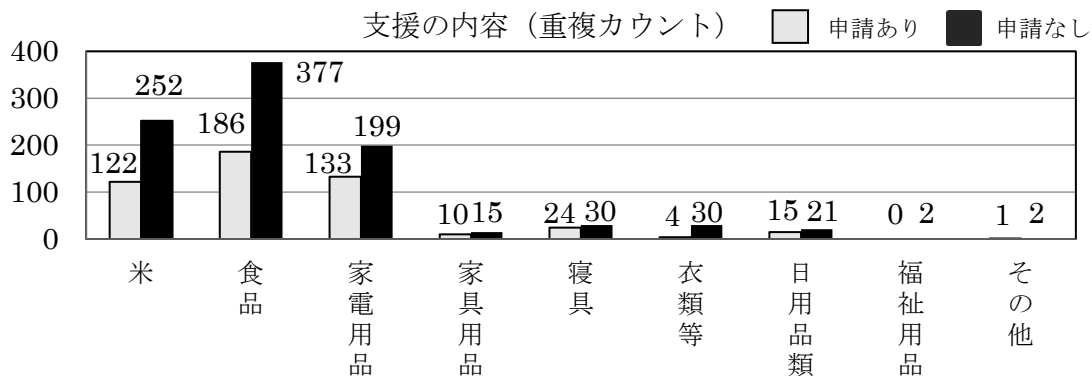
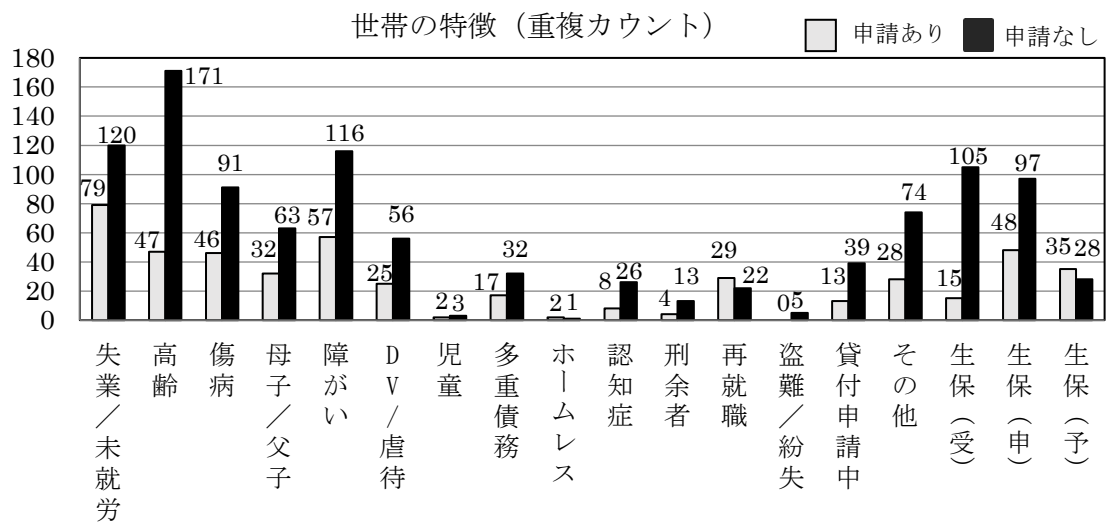
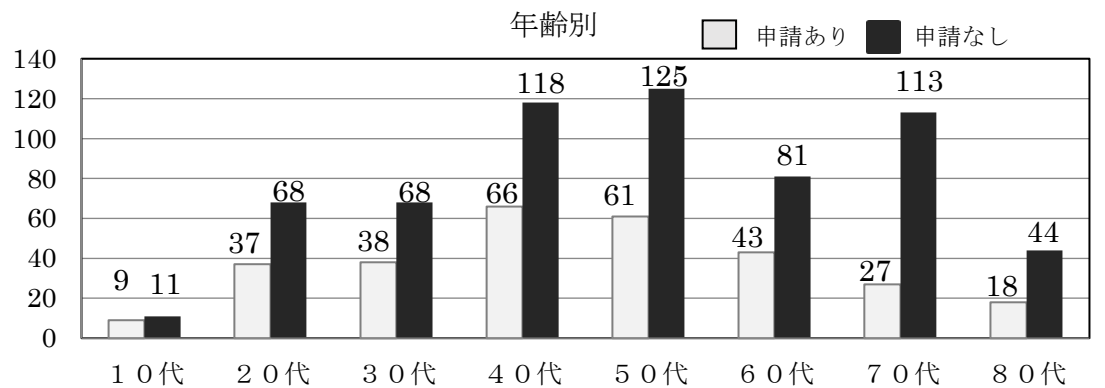
感染拡大に伴い、失業や減収世帯等の増加が見込まれたため、本事業においても、迅速かつ適切な相談とネットワークを活かした支援を呼びかけた。総合生活相談を通して、経済的援助の支援とともに、就労支援や物品支援、施設での食事提供など、施設の地域貢献の取り組みや複数施設の連携による支援も見られた。

経済的援助の支援総件数は、前年度比でおよそ 75%に下がっており、新型コロナウイルス感染症対策に伴う緊急小口資金や総合支援資金、住居確保給付金など、他制度を利用できたことによる相談の減少が考えられるが、制度での解決が難しい相談が本事業につながった。一方、「失業・未就労」世帯の相談が他よりも多く、そのうち新型コロナウイルス感染症を起因とする経済的援助は 58 件（3 件に 1 件）であった。経済的援助の内容では、滞納家賃や転居支援など「住居関係費」の割合が例年より多くなった。

④寄贈物品・寄贈食材等による支援を行った相談支援事例の特徴と傾向

社会貢献基金を活用した「経済的援助（現物給付）」による支援だけでなく、地域住民や企業、関係団体等から寄付・提供いただいたリユース可能な家電や家具、日用品、食品（米、レトルト食品や缶詰、麺類など）も緊急的な支援が必要な場合に活用している。

令和２年度は、寄贈物品・寄贈食材等による支援を、931世帯（1,400人）に行った。支援を行った世帯のうち、経済的援助（現物給付）による支援もあわせて行ったものは33%（299世帯 463人）、経済的援助（現物給付）による支援を行わず、寄贈物品・寄贈食材等による支援のみを行ったものは67%（632世帯 937人）であった。物品支援の内容を金額換算すると、約400万円になる。



（２）社会福祉法人の強みを活かしたさまざまな地域貢献事業の推進

社会福祉法人（施設）で取り組まれている、それぞれの特徴や強みを活かしたさまざまな地域貢献事業を推進するとともに、本会機関誌や市民向けセミナー（マッセ・市民セミナー）を開催し、“見える化”をはかって、広く情報を発信している。

① ふくしおおさか連載記事「頑張っています！社会福祉法人の地域貢献」

No.	号	内容
1	春号	スマイルサポーターによる地域貢献実践 福)あすなろ会 認定こども園石津川保育園（堺市／保育部会）
2	夏号	失業した母子世帯への就労と生活支援 福)四幸舎和会 くりのみ園（能勢町／成人施設部会）
3	秋号	関係機関との連携による子どもの緊急支援 福)どんぐり会 くらやまこども園（堺市／保育部会）
4	新春号	民生委員・児童委員や学校との連携 福)健勝会 特別養護老人ホームなにわ（大阪市／老人施設部会）

② マッセ・市民セミナー「生活困窮レスキュー事業 事例調査・分析報告会」

No.	日付	会場	人数	内容
1	02. 12. 21	大阪府社会福祉会館	42 人	<オリエンテーション・報告> 大阪しあわせネットワークについて～事業説明と事例紹介 大阪府社会福祉協議会 施設福祉部 社会貢献推進室 社会貢献支援員 上村 英・辰巳 正秀 <講演> 「生活困窮世帯の特徴分析と予防的支援について」 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 教授 西垣 千春氏 経済学部 准教授 田宮 遊子氏

（３）「社会貢献基金（特別部会費）」の拠出

「大阪しあわせネットワーク」を推進するため、本会施設種別部会の会員施設（社会福祉法人が運営する施設のみ）が拠出する「社会貢献基金（特別部会費）」については、1,119 施設 75.2%（社会福祉法人が運営する会員施設 1,488 施設中）から 138,471,500 円の拠出があった。

<社会貢献基金の拠出状況（参考）>

【元年度】 1,472 施設中、1,099 施設（74.7%） 137,765,000 円

【30 年度】 1,449 施設中、1,059 施設（73.1%） 175,661,500 円

3. 委員会

（１）経営者部会社会貢献事業推進委員会

事業の推進にあたり、各施設種別部会から選出された委員が参画し、事業全般に関する企画・運営、各施設種別部会間の調整、意見交換を行った。

No.	日付	会場	人数	内容
1	02. 7. 16 ～ 02. 7. 27	書面決議	17	1. 令和元年度事業報告・決算について 2. 令和2年度事業計画・予算について 3. 令和2年度事業進捗状況について 4. 大阪しあわせネットワーク・地域貢献委員会連携推進助成事業について
2	02. 11. 17 ～ 02. 11. 25	書面決議	17	1. 令和2年度事業進捗状況について 2. 大阪しあわせネットワークあり方検討委員会について 3. 大阪しあわせネットワーク・地域貢献委員会連携推進助成事業の進捗について
3	03. 2. 17	大阪社会福祉指導センター (オンライン併用)	14	1. 令和2年度事業の進捗状況について 2. 令和2年度補正予算および令和3年度事業計画・予算について 3. 大阪しあわせネットワーク・地域貢献委員会連携促進事業について 4. 各部会における取り組み、意見交換

(2) 社会貢献基金運営委員会

事業全般に関する審議、「社会貢献基金」の適正な管理のため、学識経験者、民間団体、各施設種別部会から選出された委員により構成する委員会で審議を行った。

No.	日付	会場	人数	内容
1	02. 7. 16 ～ 02. 7. 27	書面決議	19	1. 令和元年度事業報告・決算について 2. 令和2年度事業計画・予算について 3. 令和2年度事業進捗状況について 4. 大阪しあわせネットワーク・地域貢献委員会連携推進助成事業について
2	02. 11. 17 ～ 02. 11. 25	書面決議	19	1. 令和2年度事業進捗状況について 2. 大阪しあわせネットワークあり方検討委員会について 3. 大阪しあわせネットワーク・地域貢献委員会連携推進助成事業の進捗について
3	03. 3. 17 ～ 03. 3. 23	書面決議	19	1. 令和2年度事業の進捗状況について 2. 令和2年度補正予算および令和3年度事業計画・予算について 3. 大阪しあわせネットワーク・地域貢献委員会連携促進事業について

(3) 経営者部会「大阪しあわせネットワークあり方検討委員会」

「大阪しあわせネットワーク（オール大阪の社会福祉法人による社会貢献事業）」の充実とさらなる発展のため、①事業、②基金、③人材の3点を主な論点として、これからの効果的・効率的なあり方について検討。令和3年3月に各論点の方向性を示した報告書をまとめた。あわせて、相談支援の現状把握のため、生活困窮者レスキュー事業の分析を実施した。（平成28～令和元年度 2,633件対象）

No.	日付	会場	人数	内容
1	02. 8. 28	大阪社会福祉指導センター	9	1. この間（主にコロナ禍）の状況等共有 2. 「論点：①事業」（素案）に関して意見交換 3. 「論点：②基金③人材」論点整理に向けた意見交換 4. 本委員会のすすめ方
2	02. 10. 23 オンライン 併用	あべのハルカス	9	1. 「論点：①事業、②基金、③人材」（素案）に関して意見交換 2. 令和3年度以降の取り組みや事業について
3	02. 12. 25 オンライン 併用	大阪社会福祉指導センター	8	1. 「論点：①事業、②基金、③人材」に関して各論点のまとめ 2. 生活困窮者レスキュー事業の分析（4年間の経過報告） 3. 最終まとめについて
4	03. 2. 26	大阪社会福祉指導センター	7	1. 最終まとめ（素案）について

4. 社会貢献支援員の配置

（1）社会貢献支援員の配置状況（令和3年3月末日時点）

No	担当地域	氏名	駐在先（法人名/施設・事業所）
1	豊中市・池田市・箕面市	山内 充郎	（福）大阪府社会福祉事業団 特別養護老人ホーム豊寿荘
2	吹田市・能勢町・豊能町・茨木市	國森 絵美	吹田市社会福祉協議会施設連絡会 （事務局：吹田市社会福祉協議会）
3	高槻市・島本町・摂津市	上杉 憲司	（福）みどりヶ丘会 グリーン特別養護老人ホーム
4	寝屋川市・門真市・枚方市・交野市	堀井 義元	（福）聖徳園 特別養護老人ホームひらかた聖徳園
5	四條畷市・大東市・守口市	松本 保彦	（福）大阪府社会福祉事業団 特別養護老人ホーム四條畷荘
6	東大阪市（西エリア）	湯村 丈司	（福）由寿会 特別養護老人ホームアーバンケア稲田
7	東大阪市（中・東エリア）	北村 優子	（福）川福会 特別養護老人ホームみのわの里
8	八尾市・柏原市・松原市・藤井寺市・羽曳野市	下永田 智子	柏原市民間社会福祉施設連絡会 （事務局：柏原市社会福祉協議会）
9	河内長野市・大阪狭山市・富田林市・太子町・河南町・千早赤阪村	大倉 修一	（福）みなと寮 救護施設 みなと寮
10	河内ブロック担当	辰巳 正秀	（福）聖徳会 まつばらケアプランセンター

No	担当地域	氏名	駐在先（法人名/施設・事業所）
11	大阪市（淀川区・西淀川区・北区・福島区・此花区・西区）	井田 堤子	（福）亀望会 特別養護老人ホーム江之子島コスモス苑
12	大阪市（港区・大正区・浪速区・西成区）	野津 達人	（福）みなと寮 救護施設 こうせいみなと
13	大阪市（中央区・天王寺区・東成区・生野区・平野区）	川崎 博之	（福）久栄会 特別養護老人ホームインパレスみのり苑
14	大阪市（鶴見区・城東区・都島区・旭区・東淀川区）	隅田 昌宏	（福）治栄会 軽費老人ホーム ラフォーレからまつ
15	大阪市（住吉区・住之江区・東住吉区）	梅原 早苗	（福）みおつくし福祉会 母子生活支援施設 南さくら園
16	大阪市ブロック担当	上村 英	（福）央福祉会 特別養護老人ホームウェルネスあびこ
17	堺市（北区・堺区・西区）	佃 今日子	（福）関西福祉会 特別養護老人ホーム陵東館
18	堺市（中区・東区・南区・美原区）	三井 環	（福）いずみ会 特別養護老人ホームおおみの
19	泉州（泉大津市・忠岡町・高石市・和泉市）	末包 ミカ	（福）豊中福祉会 特別養護老人ホーム ローズガーデン 条南苑
20	泉州（岸和田市・貝塚市・熊取町）	栗坂 英子	（福）嘉舟会 特別養護老人ホームいなば荘
21	泉州（泉佐野市・泉南市・阪南市・田尻町・岬町）	岸上 由美子	（福）幸楽会 すえひろこども園
22		築田 祐希	育休
23	大府内全域（後方支援業務）	久住 晃生	本部（大阪府社協社会貢献推進室）

（２）社会貢献支援員全体会議

No.	日付	会場	内容
1	02.4.1	大阪社会福祉指導センター	令和２年度事業計画について エリア会議・情報共有
2	02.5.8	大阪社会福祉指導センター	エリア会議・情報共有
3	02.6.5	大阪社会福祉指導センター	エリア会議・情報共有 「成年後見制度、市民後見人養成について」地域福祉部

No.	日付	会場	内容
4	02. 7. 3	大阪社会福祉指導センター	情報共有 「外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業」等について 地域福祉部 生活困窮者支援グループとの意見交換
5	02. 8. 7	大阪社会福祉指導センター	エリア会議・情報共有
6	02. 9. 4	大阪社会福祉指導センター	エリア会議・情報共有
7	02. 10. 2	大阪社会福祉指導センター	エリア会議・情報共有
8	02. 11. 6	大阪社会福祉指導センター	研修(コロナ禍における支援者のメンタルケアについて) ※生活困窮者支援グループとの合同 エリア会議・情報共有
9	02. 12. 4	大阪社会福祉指導センター	エリア会議・情報共有
10	03. 1. 8	大阪府社会福祉会館	情報共有
11	03. 2. 5	大阪社会福祉指導センター	研修(交通安全講習会) ※生活困窮者支援グループとの合同 エリア会議・情報共有
12	03. 3. 5	大阪社会福祉指導センター	情報共有

(3) 社会貢献支援員に対する教育・研修

① 本会主催研修や行政・関係機関等が開催する研修会等への参加

社会貢献支援員のスキルアップをはかるため、本会主催研修や行政・関係機関等が開催する研修会・セミナー等に参加し、教育・研修の機会とした。

② 新任社会貢献支援員フォローアップ研修会

No.	日付	会場	内容
1	02. 5. 19	大阪社会福祉指導センター	現在の活動状況報告、課題共有 課題解決に向けた意見交換・情報交換
2	02. 6. 16	大阪社会福祉指導センター	現在の活動状況報告、課題共有 課題解決に向けた意見交換・情報交換
3	02. 7. 21	大阪社会福祉指導センター	現在の活動状況報告、課題共有 課題解決に向けた意見交換・情報交換
4	02. 9. 15	大阪府社会福祉会館	現在の活動状況報告、課題共有 課題解決に向けた意見交換・情報交換
5	02. 10. 20	大阪府社会福祉会館	現在の活動状況報告、課題共有 課題解決に向けた意見交換・情報交換
6	02. 11. 17	大阪社会福祉指導センター	現在の活動状況報告、課題共有 課題解決に向けた意見交換・情報交換

No.	日付	会場	内容
7	03. 1. 19	大阪社会福祉指導センター	現在の活動状況報告、課題共有 課題解決に向けた意見交換・情報交換
8	03. 3. 16	大阪社会福祉指導センター	現在の活動状況報告、課題共有 課題解決に向けた意見交換・情報交換

5. 研修会・セミナーについて

(1) コミュニティソーシャルワーカー養成研修会

No.	日付	会場	人数	内容
1	02. 11. 25	大阪社会福祉指導センター	51	① 今なぜ社会福祉法人に 地域貢献が求められているのか 大阪府社会福祉協議会 経営者部会 社会貢献事業推進委員会 委員長 菊池 繁信 ② 大阪府社協・各施設種別部会がすすめる 「大阪しあわせネットワーク」について 大阪府社協 社会貢献推進室 ③ 「生活困窮者レスキュー事業」の仕組みと 基本的な相談支援活動のすすめ方 大阪府社協 社会貢献推進室 ④ 社会福祉協議会の活動および地域福祉について 大阪府社協 地域福祉部 ⑤ 生活困窮者自立支援制度と生活福祉資金について 大阪府社協 生活支援部
2	02. 12. 7	A P 大阪淀屋橋	49	① コミュニティソーシャルワークについて (講義と事例報告) 日本福祉大学 社会福祉学部 教授 川島 ゆり子 氏 《事例提供者》 社会福祉法人 ウエル清光会 美豊苑 施設長・CSW 内海 敦之 氏
3	02. 12. 16	大阪府立福祉情報コミュニケーションセンター	45	① 社会保障制度・生活保護～医療サービス～ 医療ソーシャルワーカー 奥村 晴彦 氏 ② 相談支援において忘れてはいけない 尊厳の倫理、人権の視点 一般社団法人メンタルさぽーたーず Labo 代表理事 澤井 登志 氏

No.	日付	会場	人数	内容
4	03.3.8	大阪社会指導センター	6	《補講》（講義の録画対応） ① コミュニティソーシャルワークについて （講義と事例報告） ② 社会保障制度・生活保護～医療サービス～ ③ 相談支援において忘れてはいけない 尊厳の倫理、人権の視点

【参考】コミュニティソーシャルワーカー養成研修会修了者数（平成16～令和2年度）

合計 2,316人

（2）CSWマイスター研修会 ※大阪府知事認定研修会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

【参考】CSWマイスター研修会 修了者数（平成25～令和元年度）

合計 224人

（3）相談援助技術研修会（事例検討会） ※事例報告会として実施

日付	会場	人数	内容
02.11.27	TKP 心斎橋 カンファレンスセンター	34	<講義と事例報告> 「コロナ禍で困窮した母子世帯への支援」 ◎事例提供者 社会福祉法人 地球の園 こひつじ保育園 園長 林 恵子 氏 （報告：社会貢献支援員） ◎講師 大阪城南女子短期大学人間福祉学科 学科長 前田 崇博 氏
03.1.28	※新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、中止		

（4）マッセ・市民セミナー

※再掲5頁参照

6. 大阪しあわせネットワークの推進にかかる各種取り組み

（1）「大阪しあわせネットワーク支援システム」の運用

事業に参画する社会福祉法人（福祉施設）間における情報共有や、相談支援実績や様々な地域貢献実践を集約する「大阪しあわせネットワーク支援システム」
<https://osaka-soudan.jp/ssss/user/login/> を運用している。



(2)「大阪しあわせネットワークポータルサイト」の公開

「大阪しあわせネットワーク」による社会福祉法人の地域貢献実践を“見える化”するため、インターネットを通じた情報発信を行う「大阪しあわせネットワークポータルサイト（<https://www.osaka-shiawase.jp>）」を公開している。



①地域貢献事業の登録施設 625 法人（1071 施設）

②CSW・スマイルサポーター登録施設 440 法人（664 施設） ※令和3年4月現在

(3)「大阪しあわせネットワーク」実践事例集の作成

オール大阪となって5年が経ち、社会福祉法人・施設の実践がさまざまに広がりを見せていることから、各施設種別部会の実践をもとに事例集を作成した。

No	部会	内容	法人名・施設名
1	老人	母子世帯への就労支援	福) 和秀会 岸和田特別養護老人ホーム
2	保育	関係機関と連携した子育て家庭への支援	福) 大東若竹会 若竹こども園 福) めぐみ会 常称寺保育園
3	児童	施設を卒園する児童への支援	福) 南湖会 泉ヶ丘学院
4	母子	緊急入所した女性への支援	福) みおつくし福祉会 南さくら園
5	成人	施設間や関係機関と連携した支援	福) みなと寮 こうせいみなと 福) 弥栄福祉会 くまとり弥栄園
6	セルフ	強制退去となった世帯への支援	福) ほっこり福祉会 ほっこりの里
7	医療	無料低額診療事業での支援	福) 天心会 小阪病院
8	老人 保育	種別間連携での支援	福) 聖ヨハネ学園 ミス・ブール記念ホーム 福) 照治福祉会 浦堂認定こども園

(4) ブロック担当（社会貢献支援員）による地域支援

令和2年度、試行的にブロック担当者2名による地域支援を実施した。主に地域貢献委員会（施設連絡会）との連携支援や、関係機関とのネットワークづくり、事業の啓発・広報など、年間支援件数は212件となった。

7. 各施設種別部会との連携について

各施設種別部会における社会貢献・地域貢献の推進にかかる取り組みと連携し、大阪しあわせネットワークの推進をはかるため、部会、役員会における各種報告、研修会、各種事業における連携・協働を行った。

◎老人施設部会 社会貢献事業推進委員会と社会貢献支援員の意見交換会

◎保育部会 スマイルサポーターパンフレットのリニューアルに伴う広報啓発
保育おおさか取材協力

＜各施設種別部会における社会貢献・地域貢献に関する主な取り組み＞

- ◎経営者部会 居住支援法人（8 法人）との情報交換会（1 回）（オンライン）
- ◎保育部会 スマイルサポーター活動紹介DVDの作成協力
- ◎老人施設部会 「10 分でわかる中間的就労」（研修のポイントをまとめた動画）を作成
施設での学生アルバイトを募集（新型コロナウイルスの影響で収入が減少した学生等への支援を実施）

8. 「コミュニティソーシャルワーカー・スマイルサポーター連絡会」の開催支援

社会福祉法人のコミュニティソーシャルワーカーやスマイルサポーター等の情報交換・連携促進を目的として、府内各市区町村で「コミュニティソーシャルワーカー・スマイルサポーター連絡会」を下記のとおり開催した。

＜開催状況＞

- ・大阪府内（政令市除く）41 市町村中 5 市町村 （書面開催 1 、オンライン併用 1）
- ・大阪市内 24 区中 6 区
- ・堺市内 7 区中 2 区 （オンライン 1）

※新型コロナウイルス感染症の影響により、各地域での会議や連絡会、研修会等が開催できず、会員施設間での情報共有が困難な状況であったため、8 月から大阪しあわせネットワーク支援システムにて月 1 回程度進捗状況を発信・共有した。

9. 寄付の受け入れ 5 回

No.	日付	寄付者	寄付内容
1	02.5.14	社会福祉法人 朋友会 ビクトリー保育園	500,000 円
2	02.7.16	特定非営利活動法人 高齢者 財産管理サポートまもるくん	100,000 円
3	02.12.2	有限会社 ナカイ	商品券 30,000 円
4	03.1.14	宗教法人 四天王寺	白米 134 キロ、玄米 19 キロ
5	03.2.5	グリーン大阪農業協同組合	米 60 キロ

10. 大阪しあわせネットワークと地域貢献委員会（施設連絡会）との連携推進助成事業

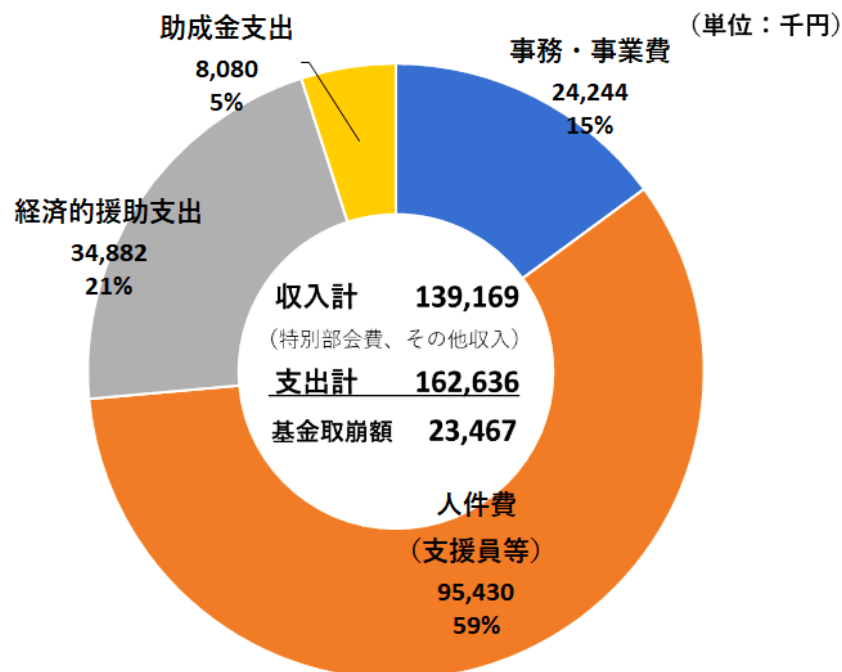
市町村域における「地域貢献委員会（施設連絡会）」と府域における「大阪しあわせネットワーク」との、より一層の連携をはかり、地域の福祉力やセーフティネットの充実につながる仕組みを検討するため助成事業を実施した。

- ① 助成対象：市町村社会福祉協議会が事務局を担う「地域貢献委員会（施設連絡会）」
として、大阪しあわせネットワークと連携し、支援の仕組みづくり・ネットワーク構築等を行う事業
- ② 実施期間：令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日

- ③ 助成先 : 豊中市、池田市、吹田市、能勢町、守口市、枚方市、寝屋川市、大東市、
四條畷市、東大阪市、八尾市、河内長野市、松原市、柏原市、藤井寺市、
泉大津市、和泉市、熊取町の各地域貢献委員会（施設連絡会）
- ④ 助成金額：18 か所 合計 8,079,773 円
※新型コロナウイルス感染症の影響から、一部は令和3年度に繰り越して実施する予定。

11. 令和2年度決算概要 ※令和3年4月30日時点の見込みに基づくもの

令和2年度における大阪しあわせネットワークにかかる財務については、大阪府社会福祉協議会にて処理を行い、令和3年6月開催予定の大阪府社会福祉協議会定時評議員会において議決を行う予定であるが、令和3年4月30日時点における決算見込みに基づく、決算概要については下記のとおりである。



※令和2年度当初の社会貢献基金額は355,327千円であり、上記の基金取崩額23,467千円を引いた331,860千円が令和2年度末時点における社会貢献基金額となる。

※経済的援助支出については、総支援件数556件44,427千円から、施設からの残額返金255件9,097千円、対象者からの返還金39件448千円を差し引いた34,882千円となる。

～ 本件に関するお問い合わせ ～
社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
施設福祉部 社会貢献推進室
電話 (06) 6762-9488 FAX (06) 6762-9472